

ふくい街角景気速報

(平成23年9月分)

調査期間 平成23年9月9日～27日 (回答率：98%)

概況

景気の現状判断DIは46.2となり、前月に比べ0.7ポイント低下した。また、景気の先行き判断DIは45.7となり、前月に比べ6.9ポイント上昇した。

■景気の現状判断DI 46.2 (前月比 ▲0.7)

家計部門を見ると、多くの企業から残暑が長引いたことによる秋冬物の動きが弱いことや台風など自然災害の影響により、来客数、売上等が減少したとの声が聞かれた。

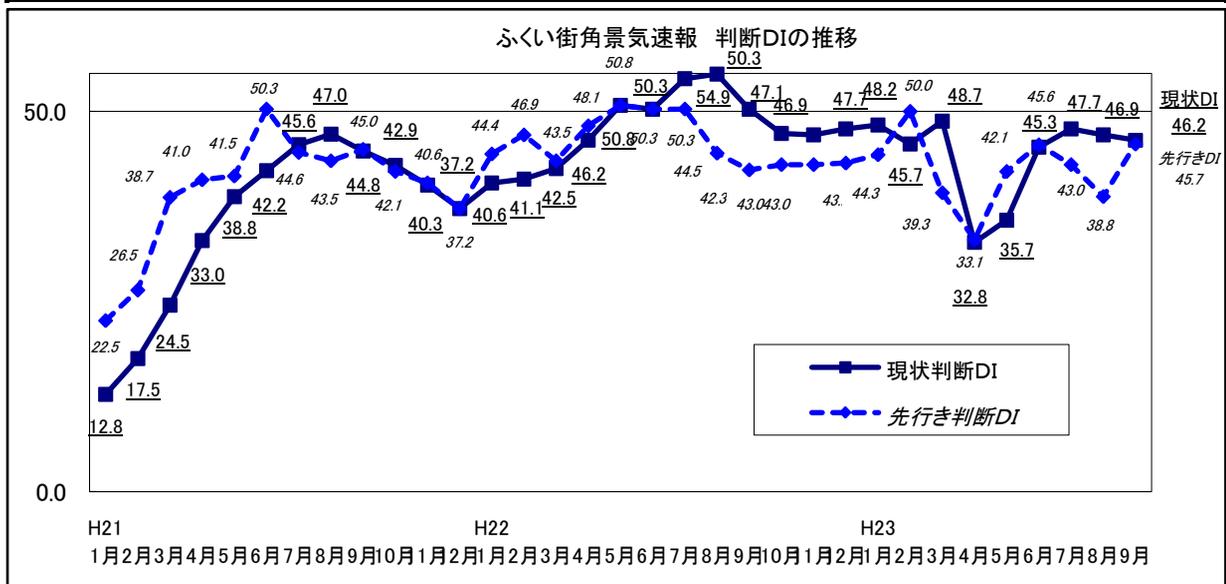
企業部門を見ると、眼鏡や電機機械、鉄鋼など企業では受注量が増加しているとの声が聞かれたものの、繊維や一般機械などの一部の企業からは円高のため受注や収益に影響が出ているとの声も聞かれた。

雇用部門を見ると、労働相談員や学校の就職担当者からは、昨年よりも求人が増えているとの声が聞かれた。

■景気の先行き判断DI 45.7 (前月比 +6.9)

家計部門を見ると、年末需要や冬季旅行シーズンを期待する声が聞かれた。また、企業部門や雇用部門を見ると、一部の企業では秋以降の受注状況が震災前の水準を上回るとの声も聞かれた。

一方で、円高による受注等の減少や株安、増税等による消費意欲の停滞などを懸念する声も聞かれた。



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	3 P
3. 判断理由 (1) 景気の現状判断の理由	4 P
(2) 景気の先行き判断の理由	7 P
4. 参考 (1) 調査対象の構成	10 P
(2) 調査票	11 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	39	21	13	5
坂井	坂井市、あわら市	14	8	6	0
奥越	大野市、勝山市	10	5	3	2
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	17	7	8	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	10	6	4
計		100	51	36	13

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

調査結果

1. 景気の現状判断DI

今月の現状判断DIは、46.2となり、2か月続けて低下した。
先月と比べ、企業部門、雇用部門は上昇したものの、家計部門は低下した。また、変わらないとする回答が半数以上を占めた。

家計部門を見ると、多くの企業から残暑が長引いたことによる秋冬物の動きが弱いことや台風など自然災害の影響により、来客数、売上等が減少したとの声が聞かれた。

企業部門を見ると、眼鏡や電機機械、鉄鋼など企業では受注量が増加しているとの声が聞かれたものの、繊維や一般機械などの一部の企業からは円高のため受注や収益に影響が出ているとの声も聞かれた。

雇用部門を見ると、労働相談員や学校の就職担当者からは、昨年よりも求人が増えているとの声が聞かれた。

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	H23 4	5	6	7	8	9	(前月差)
合計		32.8	35.7	45.3	47.7	46.9	46.2	▲0.7
家計動向関連		28.1	35.8	45.3	47.5	48.5	42.2	▲6.3
小売		30.9	37.1	41.9	50.0	48.5	38.6	▲9.9
飲食		12.5	31.3	50.0	25.0	31.3	56.3	+25.0
サービス		25.0	33.3	55.0	45.8	54.2	47.9	▲6.3
企業動向関連		40.7	36.0	47.1	46.3	42.6	48.5	+5.9
製造業		45.0	39.6	48.1	48.0	44.0	49.0	+5.0
非製造業		30.0	27.5	44.4	41.7	38.9	47.2	+8.3
雇用関連		29.2	34.6	40.4	52.1	52.1	55.8	+3.7

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(8月調査結果)
現状判断DI 47.3

○回答別構成比

	年 月	H23 4	5	6	7	8	9	(前月差)
良くなっている		1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	+0.0
やや良くなっている		7.3%	9.2%	25.0%	24.0%	25.0%	16.3%	▲8.7
変わらない		25.0%	28.6%	36.5%	46.9%	39.6%	56.1%	+16.5
やや悪くなっている		55.2%	54.1%	33.3%	25.0%	33.3%	23.5%	▲9.8
悪くなっている		11.5%	7.1%	5.2%	4.2%	2.1%	4.1%	+2.0

2. 景気の先行き判断DI

今月の先行き判断DIは、45.7となり、3か月ぶりに上昇した。
先月と比べ、全部門で上昇した。悪化するとの回答が減少し、変わらないとの回答が半数以上を占めた。

家計部門を見ると、年末需要や冬季旅行シーズンを期待する声が聞かれた。また、企業部門や雇用部門を見ると、一部の企業では秋以降の受注状況が震災前の水準を上回るとの声も聞かれた。

一方で、円高による受注等の減少や株安、増税等による消費意欲の停滞などを懸念する声も聞かれた。

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	H23 4	5	6	7	8	9	(前月差)
合計		33.1	42.1	45.6	43.0	38.8	45.7	+6.9
家計動向関連		33.2	44.6	44.8	41.0	38.5	44.1	+5.6
小売		33.8	44.3	43.4	41.4	33.1	42.9	+9.8
飲食		18.8	50.0	31.3	8.3	25.0	43.8	+18.8
サービス		36.4	43.8	55.0	47.9	58.3	47.9	▲10.4
企業動向関連		34.3	39.0	45.7	42.6	38.2	44.9	+6.7
製造業		35.0	39.6	44.2	44.0	42.0	45.0	+3.0
非製造業		32.5	37.5	50.0	38.9	27.8	44.4	+16.6
雇用関連		29.2	40.4	48.1	52.1	41.7	53.8	+12.1

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(8月調査結果)
先行き判断DI 47.1

○回答別構成比

	年 月	H23 4	5	6	7	8	9	(前月差)
良くなる		0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	+0.0
やや良くなる		8.3%	15.3%	20.8%	10.4%	13.5%	13.3%	▲0.2
変わらない		26.0%	43.9%	46.9%	52.1%	35.4%	59.2%	+23.8
やや悪くなる		55.2%	34.7%	26.0%	32.3%	43.8%	24.5%	▲19.3
悪くなる		10.4%	6.1%	6.3%	4.2%	7.3%	3.1%	▲4.2

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由	
②やや良くなっている	家計 動向	坂井	小売店	・客数や売上は増加している。	
		福井	百貨店 ショッピングセンター	・今年トレンドの衣料品が好調の半面、残暑が長引き秋物・冬物の動きが鈍い。 ・前年同期は確保できる。	
		福井	百貨店 ショッピングセンター	・宝飾品が好調なものの、美術関係はやや不振。	
		福井	百貨店 ショッピングセンター	・残暑がきびしく、また、台風などの自然災害等のため前年割れ。	
		福井	居酒屋	・来客数の数が少なくなっている。	
		嶺南	旅館	・客数は減少しているが、企画や丁寧な対応により単価の上昇は見込める。 ・9月以降も予約の入りは早めで、春の積み残しも見込めそうで、多少の上積みは期待できる。	
		福井	ビジネスホテル	・一般客と団体客のバランスが良くなってきている。 ・インターネットでの予約が増加している。	
	企業 動向	丹南	眼鏡	・受注が若干増えている。	
		丹南	眼鏡	・東日本震災後落ち込んだが、復調の兆しが見え、注文の出方が多くなって来た。	
		丹南	電気機械	・受注量が増加してきている。	
		丹南	鉄鋼	・受注量がやや増加してきている。	
		嶺南	建設業	・業務の受託量が増え、仕事が混んできている。 ・業務価格は下がっているが、業務量が増加した分、やや持ち直しの感がある。	
	雇用	嶺南	労働相談員	・7月の敦賀および小浜の有効求人倍率および新規求人倍率は前年同月を上回る。	
		福井	学校就職担当者	・求人数は昨年同期と比べ、約25%増加。	
		嶺南	学校就職担当者	・東日本大震災の影響が少しずつ薄れつつあり、大学新卒の採用を再開する企業が増加してきた。	
		福井	ジョブカフェ担当者	・高卒や大卒、一般を含め、企業の求人数は昨年同期と比較しても高い数値である。	
	③変わらない	家計 動向	丹南	商店街	・消費者の財布のひもが固い。
			福井	小売店	・客の様子に変化がない。
			丹南	小売店	・依然低調なまま変化なし。 ・同業者の間でも同様の様子。
			奥越	小売店	・祝日や農期の関係から、9月は例年来客が少ない。
奥越			小売店	・客単価が上がれば客数が減るため、変わらず。	
丹南			小売店	・同業他社も自店舗も、繁忙期には程遠い状況にある。	
坂井			百貨店 ショッピングセンター	・台風などの影響から、客数や客単価が微減。	
丹南			スーパー	・客数はほぼ前年並みだが、買上点数が伸びない。 ・生鮮食品等の品揃えを強化して買上点数を伸ばしたいが、一品単価が減少するため客単価そのものの改善は困難であるとする。	
丹南			スーパー	・買上点数が少し低くなっているが、客数や総売上点数は昨年と比べて変わらない。	
福井			割烹	・土、日に天候に恵まれ県外客数が増加したものの、客単価は低い。	
嶺南			レストラン	・舞若道無料化実験中止以降、客数、販売量が減少している。	
福井			駐車場	・3か月前と比べ、利用者台数は増えたものの、短時間利用が多かったため収入は減少した。 ・円高、株安、個人消費の低迷等上向き材料が乏しく、先行きは不透明である。	
坂井			観光・レジャー施設	・客の流れが少し出てきたが、まだまだと感じる。	
坂井			旅行代理店	・取扱数、販売数は前年割れが続いている。 ・単価の下落、競争の激化は依然として続き、相変わらず厳しい。	
福井			旅行代理店	・夏前は、先行受注も好調で良い方向に向かっていたが、8月は前年に比べ非常に悪い。	

③変わらない	家計 動向	福井	タクシー	・収入の動向に変化がない。
	企業 動向	坂井	繊維	・取引先の動向に変化がない。
		福井	繊維	・8月から変化していない。
		坂井	一般機械	・為替が不安定であることや、先々の不安定要素が多い事から注文が延期されている。
		福井	一般機械	・設備投資関連の受注は底堅く推移しているが、円高の影響から収益面では苦戦を強いられている。
		福井	一般機械	・受注量や販売量の動きに変化がない。
		福井	化学・プラスチック	・顧客は、震災から徐々に立ち直ってきているが、円高の影響と、中国の景気が若干かげり始めている。
		福井	化学・プラスチック	・受注量や販売量の動きに変化がない。 ・住宅市場の低迷はここ2年ほどは変わっていない。
		丹南	伝統工芸	・販売量の動きに変化がない。
		奥越	食料品製造	・売上や取引先に大きな変化なし。
		嶺南	医薬品	・景気に左右されると思われる一般薬、健康食品の販売に変化なし。
		福井	IT関連	・受注の動きに変化がない。
		福井	金融機関	・東日本大震災により間接的な影響を受けた企業については、売上高等が震災前に戻っている企業が見られるなど、持ち直し感が見られる。
		福井	金融機関	・消費動向が上昇してきていない。
		福井	不動産	・住宅建設用地の引き合いは強い。 ・価格の値下げ要求から、取引価格の下落が続いており、収益が悪化している。
		福井	運輸	・4月までは、前年比プラスの売上高であったが、5月以降は前年と同水準で推移している。
	雇用	奥越	自治体労働政策担当課	・企業等から聞き取りした結果では、前月と変わらない。
		丹南	自治体労働政策担当課	・震災後ある程度企業の生産活動も回復しているが、円高や株価の下落等により先行き不透明。
		福井	労働相談員	・求人数等などに変化が見られない。
		奥越	学校就職担当者	・景気は良くなることは期待できない。
嶺南		ジョブカフェ担当者	・求人数の動きや、企業の様子を見ても、変化は感じられない。	
福井		人材派遣会社	・求人数の動きに変化がない。	
福井		就職情報誌	・製造業の求人に変化がない。	
④やや悪くなっている	家計 動向	福井	商店街	・来客数、販売額ともに若干下向き。
		嶺南	商店街	・車の通過台数が減っており、外販されていない店は厳しい。 ・夏の旅行客も原発の影響で減少しており、活気がなくなっている様に思われる。
		福井	百貨店 ショッピングセンター	・客単価は昨年をやや上回っているが、レジ客数が昨年と比べて減少している。
		福井	百貨店 ショッピングセンター	・暑さが長引いたこともあり、売上や客数が減少している。
		丹南	百貨店 ショッピングセンター	・地震や台風などの影響があると考えられるが、売上や客単価が減少傾向にある。
		嶺南	百貨店 ショッピングセンター	・売上額は直近3ヶ月連続で前年比マイナスとなっている。 ・客数も前年に比べ、大幅に減少している。
		奥越	百貨店 ショッピングセンター	・客数、売上とも下がり続けている。
		福井	スーパー	・客単価は上がっているものの、台風などの影響から客数がやや下がっており、トータルでマイナス。
		坂井	スーパー	・景気や株価の低迷。
		嶺南	スーパー	・7月以降売上、客数ともに伸び悩んでいる。
		福井	大型小売店	・客数が戻っているが、売上が戻らない。

④やや悪くなっている	家計 動向	嶺南	大型小売店	・来店客数、購買単価が減少。
		嶺南	ドライブイン	・来客数が減った。
		坂井	旅館	・昨年よりも来客数が減少。
	企業 動向	奥越	繊維	・記録的な円高の影響もあり、輸出関連の受注が苦戦している。 ・国内のものづくりが危機にさらされているように感じる。
		坂井	繊維	・多品種、小ロットのため、売上が伸びない。
		丹南	眼鏡	・世界的に金融不安が長期化する。 ・政権が変わって増税することになる。 ・円高、株価の低下、輸出産業の業績の悪化、ますますデフレになる。
		福井	商社	・個人は節約志向が進み、売上額が増えない。
		坂井	非鉄金属	・受注量が減少した。
		坂井	IT関連	・受注額が減少している。
		福井	運輸	・月別の売上高が減少傾向にある。
雇用	嶺南	就職情報誌	・地デジ移行特需後、メーカーや販売店、協力業者の状況が悪化している。	
⑤悪くなっている	家計 動向	嶺南	コンビニエンスストア	・来客数が減少した。
		嶺南	コンビニエンスストア	・季節的な要因から客数は減少している。 ・全体的に消費のマインドが低下している。
		嶺南	観光物産店	・小浜IC開通によるアクセスの変化で来店客が減っている。
		丹南	クリーニング店	・暑さのためか、客が非常に少なかった。

3. 判断理由

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由	
②やや良くなる	家計 動向	嶺南	商店街	・10月に開催する「食の祭典」を契機に、新規の顧客の確保に努める。	
		奥越	小売店	・年末の需要が期待できる。	
		丹南	百貨店 ショッピングセンター	・新しい内閣に期待している。	
		福井	割烹	・冬季はカニやふぐといった単価の高い品が出るので、少しは良くなると期待している。	
		福井	ビジネスホテル	・コンサートや学会等により先行予約が多い。 ・インターネット予約が好調なため、間際の空室は予約で埋まってくる。	
		福井	旅行代理店	・向こう3か月は前年より好調に推移している。	
	企業 動向	福井	繊維	・震災前に比べても、秋以降の受注は増加傾向にある。	
		丹南	眼鏡	・この先海外含めて展示会が多いので、商談が成立すれば、注文増に繋がる。	
		丹南	鉄鋼	・生産が震災前に戻った。 ・今後の受注も順調。	
		福井	運輸	・今後は、東日本大震災前の水準を上回る見通し。	
	雇用	嶺南	労働相談員	・東日本大震災や円高と厳しい状況が続くが、震災復興、夏の猛暑の影響もあり、地元企業の動きも増減はあるが少しずつ良くなっていると感じる。	
		嶺南	学校就職担当者	・新内閣が誕生し、景気も少しずつ回復傾向にあると考えられる。	
		福井	ジョブカフェ担当者	・震災復興需要が出てきている業種もある。 ・円相場が極端に円高に動かなければ輸出産業の収益も改善すると思われる。	
	③変わらない	家計 動向	丹南	商店街	・地震以降の節約志向の浸透で、冬に向けても消費行動は変わらない。
			福井	小売店	・新築工事、改装工事がない。
坂井			小売店	・秋は例年観光シーズンのため、県外客の増加が見込まれる。	
丹南			小売店	・地場産業が好転する様子が見られない。	
丹南			小売店	・これ以上悪くならないほど、悪化している。	
福井			百貨店 ショッピングセンター	・今後大きな伸びもないが大きくマイナスになることもない考える。	
福井			百貨店 ショッピングセンター	・株安、円高により景気の先行きが不透明。	
福井			百貨店 ショッピングセンター	・今後の景気が読めず、天候不順が大きな変動要因になる可能性がある。	
坂井			百貨店 ショッピングセンター	・11月のリニューアルオープンに向け、販売に全力を上げる。	
奥越			百貨店 ショッピングセンター	・世界経済、国内政治、雇用状況と、不安が多い。	
丹南			スーパー	・天候不順による農産物の価格高騰も改善されてきている。 ・将来に対する課題解決の方向性が見えない限り、景気は良くならない。	
丹南			スーパー	・消費者の安全、安心に対する関心が高まりつつある。	
嶺南			スーパー	・県外客が少ない。	
福井			大型小売店	・年末までは消費が戻って来ないと思われる。	
福井			駐車場	・円高や株安、復興等にもなう増税感など、景気回復は当分見込めない。	
嶺南			旅館	・秋は例年悪くはないが、大きな伸びは感じられない。	
坂井			観光・レジャー施設	・円高等のため、回復には時間がかかるのではないかと。	
企業 動向		坂井	繊維	・円高が厳しい。	
		丹南	眼鏡	・円高の問題で海外の受注がとりにくい。	

③変わらない	企業 動向	福井	一般機械	・設備投資需要はグローバルベースでは大きな悪化はないと思われるが、中国の景気減速懸念がどこまで影響するか注視したい。
		福井	化学・プラスチック	・住宅市場の回復には相当の年数がかかると見ている。
		丹南	伝統工芸	・良くなる材料が何もない。
		福井	商社	・メーカーの在庫が増え、利益の取れない年末になりそう。
		奥越	食料品製造	・円高による消費意欲の減退が大きい。
		嶺南	医薬品	・景気好転は期待できず、現状通りの推移を見込んでいる。
		福井	IT関連	・今後の受注の動きに変化がない。
		福井	金融機関	・持ち直し感はあるものの、株安、為替動向といった不安材料もあり、景気好転にはしばらく時間を要する。
		福井	金融機関	・円高、株安、デフレの具体的解決策が見出せない状況から変化はないものと判断している。
		福井	運輸	・円高、消費動向等をみると景気が下振れする懸念がある。
	雇用	奥越	自治体労働政策担当課	・商業販売高が、昨年よりやや低調。
		丹南	自治体労働政策担当課	・震災後ある程度企業の生産活動も回復しているが、円高や株価の下落等により先行き不透明。
		奥越	学校就職担当者	・このところ自然災害が増えているように感じる。
		福井	学校就職担当者	・円高が続く限り、特に輸出関連企業は回復に向かわない。
		嶺南	ジョブカフェ担当者	・景気回復への要素が乏しいことや、政治経済の不透明さもあり、変わらない。
		福井	人材派遣会社	・円高の影響が懸念される。
		福井	就職情報誌	・円高や復興へのベクトルが示されないとわからない。
		嶺南	就職情報誌	・テレビのデジタル移行特需が終了し、メーカーや電気店などの販売が落ち込んでいる。
		④やや悪くなる	家計 動向	福井
奥越	小売店			・少し良くなると思えたが、台風などの自然災害で雰囲気停滞しそう。
嶺南	百貨店 ショッピングセンター			・空店舗対策等が上手くいかない限り、今後も客数及び客単価の減少が継続すると考えている。
坂井	スーパー			・円高や増税政策により、消費は委縮する方向と考える。
嶺南	観光物産店			・冬期のメニュー食材が値上がりして、旅行社やツアーへの影響が懸念される。
嶺南	ドライブイン			・寒くなると消費動向がにぶる。
嶺南	レストラン			・景気は足元・先行きとも悪化傾向。
福井	居酒屋			・景気が悪いため、客足が遠のいている。
丹南	クリーニング店			・夏物衣料の後片付けが期待できる。
坂井	旅館			・景気後退が肌で感じられる。
坂井	旅行代理店			・円高が続く事が予想され、自然災害も頻発する状況では、現在より景気悪化を予想せざるを得ない。
企業 動向	奥越			繊維
	坂井		繊維	・11月～12月は最も受注の少ない時期である。
	丹南		眼鏡	・良くなる要素が見当たらない。
	坂井		一般機械	・このまま円高状況が続くと、中小・零細の下請け企業は厳しい状況が続く。
	福井		一般機械	・製造業の海外進出が進む。

④やや悪くなる	企業 動向	福井	化学・プラスチック	・顧客は震災から徐々に立ち直ってきているが、円高の影響と中国の景気が若干かげり始めている。
		坂井	IT関連	・円高、政治の混迷等による景気減速、競争の激化。
		嶺南	建設業	・新内閣の方向性が非常に悪いと考える。 ・中小企業倒産が増えそうな気がする。
		福井	不動産	・住宅エコポイントの終了や増税により、先行きは悪い。
	雇用	福井	労働相談員	・世界的な不景気が今後も続く様に感じる。
⑤悪くなる	家計 動向	嶺南	コンビニエンスストア	・秋の行楽、イベント等の需要に期待はしているが、全体のムードの向上なくしては、マイナス傾考になると予想している。 ・地域的に原子力関係の人の動きの減少も大きく影響を及ぼす。
	企業 動向	坂井	非鉄金属	・円高や国内景気低迷、震災に加えて豪雨など自然災害による消費意欲の落ち込みが懸念される。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		51
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	6
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	2
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		13
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	4
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)